

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第5学年

【単元名】 米作りの盛んな地域（8時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれ、生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり、輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費者に届けるなど、我が国の食料生産を支えていることを理解する。	生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現する。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：「暮らしを支える食料生産」食料品のパンフレットをもとに、さまざまな食べ物の主な産地について調べ、白地図に書き込みながら、産地の特徴をまとめた。

働かせる見方・考え方：生産の工程などに着目して、仕事の工夫や努力とその土地の自然条件などを関連付けること。

段階	□学習問題（時間）	留意点
課題把握	1 日本のお米づくりのさかんな地域について調べよう。(1)	<p><b>気付きや疑問から「問い」を設定する場面</b></p> <p>☞鳥瞰図や写真、統計資料から気づいたことを出し合い、気付きを問いへとつなげ学習問題を設定する。</p>
	<p><b>単元を貫く問い：庄内平野では、どのようにしておいしいお米を作っているのだろう。</b></p>	
課題追究	2 予想を基に、庄内平野でさかんな理由について調べる学習計画を立てる。(1)	<p><b>予想から解決の見通しをもつ場面</b></p> <p>☞単元のならいを達成した児童の姿を明確にしておき、その達成につながる単元を貫く問いを設定しましょう。</p>
	3 どのようにお米が生産されているのだろう。(2)	<p><b>予想や仮説の検証に向けて調べる場面1</b></p> <p>☞作業の様子の写真や作業暦などを参考にしながら追究する。</p>
	4 どのように協力してお米を生産しているのだろう。(1)	<p><b>予想や仮説の検証に向けて調べる場面2</b></p> <p>☞実際のお米が消費者に届くまでの流れを確認する。</p>
	5 どのように消費者へお米は運ばれるのだろう。(1)	<p><b>予想や仮説の検証に向けて調べる場面3</b></p> <p>☞食料自給率や農業従事者数など統計資料を参考に考える。</p>
	6 お米づくりが抱える課題について考えよう。(1)	
課題解決（まとめる）	<p>7 庄内平野では、どのようにしておいしいお米を作っているのだろう。(1)</p> <p><b>【ねらいを達成した子どもの姿】</b> お米の生産にかかわる作業は年間を通して行われ、農家が協力して取り組んでいる。農業試験場では、より育てやすい品種の改良なども行われ、輸送方法や販売方法なども工夫し、我が国の食料生産を支えている。</p>	<p><b>学習を振り返る場面</b></p> <p>☞単元を貫く学習問題に対する答えをまとめる。 ☞単元を通じた学習の振り返りを行い、身近な地域の農業（あるいは実際に自分たちで行っているお米作り）へつなげる。</p>

次単元へのつながり：水産業の盛んな地域について調べ、水産業の仕事や工夫について調べる。